

# CCUS早期社会実装のための脱炭素・循環型社会モデル構築事業 (一部経済産業省連携事業)



【令和2年度要求額 9,000百万円 (7,220百万円)】

CCUS (CO<sub>2</sub>の分離回収・有効利用・貯留) の技術等の確立を行います。

## 1. 事業目的

2030年に向けて本格的にCCUSを社会実装していくため、商用化規模におけるCO<sub>2</sub>分離回収・有効利用技術等の確立とともに、脱炭素・循環型社会モデルの構築・普及展開を行う。

## 2. 事業内容

脱炭素化のためには、CO<sub>2</sub>排出削減に努めるとともに、排出されたCO<sub>2</sub>を回収・有効利用・貯留するCCUSの社会実装が必要。このため、以下の事業を実施する。

### (1) 二酸化炭素貯留適地調査事業 (経済産業省連携事業)

海底地質の詳細調査を実施し、CO<sub>2</sub>の海底下貯留に適した地点の抽出を進める。

### (2) 環境配慮型CCS実証事業

CO<sub>2</sub>分離回収設備の建設・実証により、排ガス中のCO<sub>2</sub>を分離回収する場合のコスト、環境影響等の評価を実施する。また、社会実装に向けた分析・啓発等を通じ、我が国に適した円滑な導入手法を取りまとめる。

### (3) CO<sub>2</sub>の資源化を通じた炭素循環社会モデル構築促進事業 (経済産業省連携事業)

炭素循環のモデル構築にあたり、①産業施設等の排ガスや周辺大気から回収したCO<sub>2</sub>を原料とした化学物質を社会で活用するモデル、②CO<sub>2</sub>の資源化に適用可能な人工光合成技術を活用するモデルを構築し、CO<sub>2</sub>削減効果等の検証・評価を行う。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 対象 民間事業者・団体、大学、研究機関等
- 実施期間 平成26年度～令和4年度

## 4. イメージ

CO<sub>2</sub>回収実証プラント  
(回収能力：500 ton-CO<sub>2</sub>/日、稼働予定：2020年)



排ガス中のCO<sub>2</sub>を原料とし、水素・触媒等を利用したメタン・エタノール製造を実現

